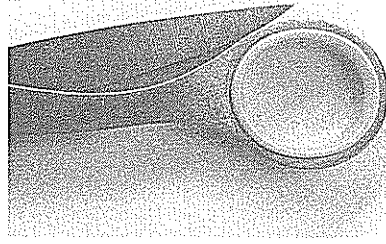




これはなんでしょう



答えについての思い出などもお待ちしています。

しめきり 9月20日

あて先 〒783 南国市大埔

甲二三〇一 南国市役所広報委員会 親子クイズ係

■答えのハガキには必ず、住所、氏名、年齢、職業を書いてください。

■賞品 正解者の中から抽選で五人に図書券を進呈。

◎第208回親子クイズの答えは自転車でした。

第208回当選者発表(敬称略)

(応募総数29通)

本川雅子(亀岩) 井上裕康(稲生)

田中宗助(前浜) 前田茂子(東崎)

植野あかね(上末松)

香南中学校二年連続優勝

南国市招待県下中学校野球大会

今年には南国市制三十周年記念大会として第八回南国市招待県下中学校野球大会が、市内はもとより県内から二十チームが参加して、八月四日から六日まで三日間、香南中学校他で行われました。一回戦から熱戦が繰り広げら

お母さんのシリーズ

母のくまのきずな①

家庭教育学級専任講師 田植 静代

母と子のきずなはいつごろから始まり、どのように発展していくのでしょうか。

母子相互研究所六ヶ年間の研究によって、母の胎内における胎児の様子を通して、母と子のつながりが科学的に証明されました。

お母さんのおなかに超短波を当て、胎児を映像に写し出すと、お母さんの感情の持ち方によって、胎児の動きがいろいろと変化するのです。

例えば、お母さんの気持ちがゆつたりしていると、おなかの赤ちゃんは子宮の中でゆるゆるとリズム的に体を動かして、指をしゃぶったり、おしっこをじゃあじゃあしたりしています。

ある夫婦が病院を訪れました。夫が中絶を迫り、妻はそれがいやで泣いていました。そのときの胎児の動きはほとんどありません。そしてときどきピクツと不意に体を動か

すのです。指を口の元に持つていってもすぐ外してしまい、不安定な様子のはっきり見えます。

父親が医者から赤ちゃんの小さな心臓の動きを説明され、いろいろと話を聞いているうちに気持ちが変わり、中絶は中止されました。

すると、おなかの赤ちゃんがリズム的にゆつくりと動きだしたのです。それはお母さんの気持ちが静まったからです。

また診療中のある母親が、看護婦の不注意な「流産するかも」という言葉を聞き、びつくりして不安な状態になったとき、動いていた胎児は全然動きを止めてしまいました。

このように母親の持っている気持ちが赤ちゃんにも同じように伝わり、影響を受けているのです。子宮内に小さな音を感じする機械を挿入して、取り出し

た音を聞いてみると、外側で話している人の声そのまま録音され、また腹部の血流音がザアザアと聞こえます。胎児は産まれる前に、両親や他の人々の声を全部聞いているのです。

産まれて二、三日目の泣いている新生児に血流音を聞かせると、泣くのをやめて眠ってしまいます。それはおなかの内にいたときのことをちゃんと記憶している証拠です。

昔から胎教ということは言われていたけれど、これほど科学的に証明されると、あらためて妊娠中のお母さんの気持ち(心の持ち方)がたいせつであるということを再確認させられます。

(つづく)

南国市教育委員会社会教育課では、第一子が新一年生を迎えるお母さんのために、中央家庭教育学級を行つていきます。そのお話の一部分を参加できないお母さんのために、六月一日号よりシリーズとして掲載していきます。どうかよろしく願います。

【社会教育課】